

JR東海労ニュース

No.1099

2008年8月23日

JR東海労働組合

職場問題を解決しよう！シリーズ②⑩

『JR東海労ニュース』に言いがかり！

言論封殺、組合活動に対する 不当介入を許さないぞ！

静岡支社管内で現場長・管理者が一斉に『JR東海労ニュース』に介入してきています。あまりにも悪質であり言論封殺、労働組合活動に対する不当介入も甚だしい事態であり放置するわけにはいきません。

特に悪質なのは、乗務に向かう組合員を呼び止め恫喝していることです。7月30日発行の『JR東海労ニュースNo.1079』（「パーフェクトクルー運動」に関する内容）に対する不当な介入を行い、「あれは何だ！なめとるのか！」と恫喝したり、別の組合員に対しては、「あの掲示（JR東海労ニュース）を掲示板に貼るな」「おまえはどう思うのだ！」などと、これまた恫喝し乗務前の組合員にいらぬ圧力をかけています。

さらに、指導訓練中（業務中）に、「スーツ通勤に文句がある者は手を挙げろ」と言わんばかりに、JR東海労の「スーツ通勤の懲憑」に関する主張（『JR東海労ニュースNo.1084』）に対して介入し、「言論の自由」を否定するような対応を行っています。その非常識さはどんどんエスカレートしています。こんな常識はずれの対応は許せません。

労働組合が、働く職場の問題点を指摘し改善を求めたり、考え方を広めるために、主張を『情報』で明らかにすることのどこに問題があるのでしょうか。前向きな経営陣・管理者であれば真摯に受け止めるべきです。逆に出勤してきた組合員をつかまえて恫喝するなど言語道断であり、不当労働行為そのものです。

このような状況では、社員の意見が反映される風通しの良い職場とは言えません。私たちは、「命令と服従」「規律と忠誠心」の横行する職場風土を打ち破るために断固闘います。

暴言連発！非常識現場長を糾弾する！
「なめとるのか！」「掲示を貼るな！」